

情報誌

つながる、見つける



私らしく、いられる場所

vol.66 2019.11 ~

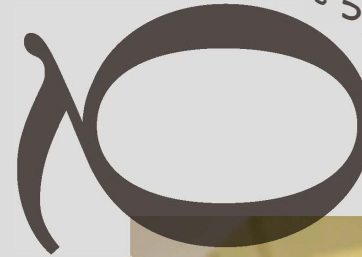
表と裏のあいだに。

東筑紫学園高等学校には、全国でも珍しい“演劇コース”がある。北九州芸術劇場もスタッフによる講義やワークショップ、作品創作など、たびたび協働企画を実施してきた。今回表紙を飾ってくれたのは、演劇コースの3年生。教室でおしゃべりに夢中になる姿はいたって普通の女子高生。しかしひとたび稽古に入ると、その表情はガラリと変わる。進むべき道を模索する大切な高校時代に演劇を選択し、真剣に取り組んだ3年間。舞台表現を通して自分の中に芽生える初めての感情と向き合いながら、大切な仲間たちと過ごした日々。かけがえない宝物を胸に、彼女たちの挑戦はこれからも続いていく。



情報誌

つながる、見つける



INTERVIEW

瀬戸康史インタビュー

「ドクター・ホフマンのサナトリウム ～カフカ第4の長編～」

扉のむこうがわ 夕暮れダンス「ちょっとごめんよ、じゃまするよ。～また逢う日まで」
地域とアートのステキな関係「芸術体験プログラム」
ピックアップ!STAGE&MUSIC



今の自分を、超えていく
未来の私に続く舞台

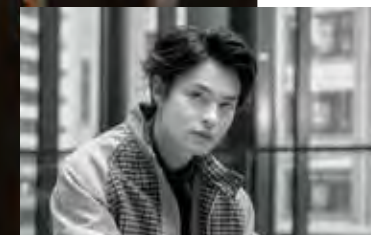
vol.66 2019.11 ~

映画にドラマに舞台にと、^{はちめんろっぴ}八面六臂の活躍を見せる俳優・瀬戸康史。ヒューマンドラマ、ラブストーリー、コメディ―……作品ごとに印象を変化させる注目株が、この秋、演劇界の異才ケラリーノ・サンドロヴィッチの舞台に出演する。故郷の舞台に立つ思い、若い人たちへの言葉には、誠実な人柄が滲んだ。

取材・文／川添史子 撮影／野坂茉莉絵

生身の人間だから生まれる感情
魂がゆさぶられるような体験を

瀬戸康史



PROFILE

1988年、福岡県出身。2005年芸能界デビュー。近年では、数々の賞を受賞した注目作NHK『透明なゆりかご』への出演や映画『寝ても覚めても』などドラマ、映画、舞台と活躍。2017年、主演舞台『関数ドミノ』の演技で第72回文化庁芸術祭演劇部門新人賞を受賞。2019年9月公開映画『人間失格 太宰治と3人の女たち』に出演。

ヘアメイク／小林純子 スタyling／小林洋治郎 (Yolken)

―瀬戸さんが北九州芸術劇場の舞台に立つのは約2年ぶりです。劇場にどんな印象をお持ちですか？

とってもキレイで、大好きな劇場です。故郷・福岡だからなのか、いつもより声もよく通るような気がします！僕の思い込みかもしれないですけど(笑)。

―ドラマ、映画にと映像のお仕事も切れ目なくされながら、舞台も定期的にご出演されています。瀬戸さんにとって舞台の魅力とは？

舞台は、お客様が観てくださることによって完成する表現ですよ。ライブであるということは、やっぱり大きな魅力です。毎日同じことをやっているようでいて、季節や天気によっても空気が微妙に変化しますし。それを敏感に感じて芝居をすれば、毎公演、新鮮なものにできるんです。時間とお金を使って足を運んでくださる方たちの前で演じるわけですから、そういう意味での緊張感、充実感も大きい。映像ではできない、ある種の表現の自由もある気がします。

―瀬戸さんは10代から舞台に立っていらっしゃいますね。

初舞台は17歳でした。当時は全く名前も知られていませんでしたし、経験も武器も何もなかったので、本当に難しかった……。でも舞台は自分を鍛える修行の場。“ナマモノ”に対してはいまだに怖さがありますけど、最近は楽しさが上回ってきた気がします。

―今回瀬戸さんがご出演されるのは、多彩な作品を生み出すケラリーノ・サンドロヴィッチ(以下KERA)さんの新作です。

不条理作家カフカの『失踪者』『審判』、そして遺作『城』に続く第4の長編小説が発見され、舞台化されたら？というユニークな趣向なんです。“ありもしないカフカ作品を捏造する”というKERAさんらしい驚きの構想(笑)。小説内の物語と、それを発見した人たちの話が二重構造になっていて、まだ途中までしか台本が出ていないのですが、今のところ僕は小説の世界の登場人物を演じます。

―なるほど、二つの物語が入り混じるんですね！

そうなんです。僕は双子の兄弟を一人二役で演じます。一番初めに、突然KERAさんから「瀬戸は二役だよ」と言われた時は、ちょっとびっくりしましたけど(笑)。シリアスな部分もあり、コメディ―要素もあって、その世界観の違い、ミックス具合を楽しんでいただければと思います。

―KERA作品にご出演されるのは、高度経済成長の日本を舞台にした『陥没』(2017年)に続いて2回目。前は、チャームingでコミカルな青年役で客席をわかしました。

あの時は「ナイーブな青年の役」とは聞いていましたが、実際はちょっとアホなヤツでした(笑)。僕実は、常に安全確実な道を選ぶほうとするタイプなんです。 “カッチリ”という状態が大好き(笑)。でも表現者としては、新しいことへ挑んだり、ちょっとはみ出したり、道草が大事じゃないですか。『陥没』では自分の中でも色んな挑戦ができて、新しい自分を発見できた気がします。KERAさんには勝手に恩を感じていますし、ついていけば間違いない。また違う世界に連れて行ってもらえる予感がしています。

―観客として感じるKERA作品の魅力について伺えますか？

僕は絵を描くのが唯一の趣味なんですけど、自分の作品の中で大切にしているのが、「見た人への投げかけ」なんです。世の中には、例えば戦争とか、虐待とか、いろいろな事件や出来事がありますよね。そういったこともストレートに扱うのではなく、何か一つフィルターや物語を挟んで伝えたいんです。KERAさんの作品はまさにそれで、悲劇的な中にも笑いのエッセンスが入っていたりと、見えるものが“ひと色”ではないんです。

―劇場では高校生限定の割引チケットも販売しています。まだお芝居を観たことがない若い方などにも、オススメのポイントがあれば教えてください。

舞台と一言で言っても、KERAさんみたいなブラックコメディ―もあれば、エッジの効いた前衛的なもの、現代の人に突き刺さるメッセージが込められたSF……いろいろなものがありますからね。でもだからこそ、いろんなものを観れば、幅広い価値観に触



れられて、日常が豊かになると思います。福岡ってお祭りが盛んで、みんなで協力して何かを作り上げるのが好きな土地柄じゃないですか。若い人たちもきっと、舞台の持つエネルギーを感じれば、その血が騒ぐんじゃないかなあ(笑)。今ってSNSの普及で、日常の感情の振りが狭くなっていると思うんですよね。心のコアな部分を揉んでくれるような舞台に出会うと、魂が揺さぶられるんです。それはやっぱり、目の前に生身の人間がいるから生まれる感情だと思います。

若い時は「ちょっとだけ外に目を向けると、世界には楽しいことがいっぱいあるよ」ということをちょっと頭の片隅に置いておくと、ぐっと人生が楽しくなる気がします。10代のころって、視野が狭くなって、どうしてもいろんなことに縛られがちじゃないですか。劇場は世の中にある鎖から解き放ってくれる空間。ぜひ一度、足を運んでみてください。

「ドクター・ホフマンのサナトリウム ～カフカ第4の長編～」
12/14(土)～15(日)◇北九州芸術劇場 中劇場
※前売完売、当日券若干枚数。詳細は劇場ホームページにて。



扉のむこうがわ

DDW2019 夕暮れダンス

「ちょいとごめんよ、じゃまするよ。～また逢う日まで」

2019/9/22

全力で夢中になることのカッコよさ

リバーウォーク北九州に到着すると、赤いTシャツをまとった集団がいた。訊けば、彼らは公募で集まった市民ダンサーだという。年齢も性別も職業も様々。“しげやん”ことダンサー・振付家の北村成美さんのもと数回の稽古を経てこの日の本番を迎えたそうだ。午後0時。誰もが聴いたことがある昭和・平成の歌謡曲に合わせて突如パフォーマン

スが始まった。しげやんの発する圧倒的なエネルギーに呼応するかのように、次第にボルテージがあがっていく赤シャツたち。鬼気迫る眼差し、全身からエネルギーがほとばしるかのようなダンス、時に叫び、時に弾ける笑顔で舞い踊る。その熱量は周辺に飛び火し、いつの間にか観客もダンスの渦に巻き込まれていく。真夏の野外フェスで会場が一体



となっている、そんな光景が思い浮かんだ。大人になってこんなにもがむしゃらに、そして全力で何かに取り組んだことがあっただろうか。羨望と同時に、「私もあんな風になれるだろうか…」と唇をかみしめていると、ふとダンサーの1人と目が合った。「大丈夫。次はあなたの番よ」。彼女の目がそう語りかけてくれたように感じられ、心がスッと軽くなった。



今回で7年目となるダンスの祭典・ダンスダイブウィークで、夕暮れ時のまちを舞台に、“しげやん”こと北村成美と公募の赤シャツダンサーズが、通りすがりの人々を巻き込みながら、情熱的なダンスで盛り上げる恒例企画。ファイナルとなる今年は台風の接近で開催自体が危ぶまれたが、会場や時間を変更し実施。無事最終パフォーマンスを終えた。

文／寺脇あゆ子 撮影／田中紀彦

地域とアートとのステキな関係

予想もしない角度で次々とまちを切り取っていく。

1枚の写真から自由に物語を想像し、表現を楽しむ。

見慣れたまちの景色が、視点を変えると全く違うものに見えてきたり…？



アーティストの表現力を目の当たりにして、演劇に興味を持つ一面も。



自己表現だけでなく、他者への興味や関心も深まっていく。



若者支援に芸術体験は有効なのか？

社会福祉法人 北九州市福祉事業団 子ども・若者応援センター「YELL」 相談員・柳谷紗織さん(臨床心理士)

若者支援と芸術体験？

子ども・若者応援センター「YELL」は、就職や進路、対人関係においてコミュニケーションをとるのが難しいなど、さまざまな悩みを持つ若者とその家族に対し、面談や活動機会の提供、専門機関の紹介といった支援を行っている。北九州芸術劇場は2013年にYELLとの連携を開始。その活動の一環として「芸術体験プログラム」を行っている。本事業に当初から携わっている相談員の柳谷さんは、同プログラムを体験して変わっていく若者たちの姿を見つめてきた。

「若者支援と芸術体験」は一見そぐわないように思えるが、「芸術には社会に出て必要な要素が沢山あるんです」と柳谷さんは言う。例えば就労支援＝名刺交換の仕方や電話マナー研修を想像するかも

しれないが、そこで求められる自己表現力やコミュニケーション力など、本質的な部分は演劇的要素を含む芸術体験で引き伸ばすことが出来ると感じているという。

共に過ごし、共に感じる

この取り組みに参加した若者からの「自分を出していいんだ」「否定されなから気持ちいいんだ」という言葉は、柳谷さんにとってとても印象的だったという。自分の住んでいるまちや大切にしているものについて、人前で活き活きと語っている若者たち。彼らのこうした行動の背景には、彼らの繊細さを尊重し丁寧に向かい合うアーティストの存在がある。表現のプロ、感じることのプロであるアーティストが創り出す空間は「何を感じても間違いでない」という自己肯定感の醸成に繋がる。仲

間と共にゼロから何かを創り出すことは、彼らにとってこれまでにない体験で、他者との関わりを深める経験は、新たな一歩を踏み出す力につながっていくのだ。

若者の可能性と多様性社会

観劇やバックステージツアーへの参加で劇場に足を運ぶなど、演劇に興味を持って出かけるようになった若者もいる。芸術体験との出会いから、気づかなかった自分の魅力やのびしろを発見したり、得意分野を生かした役割や好きなことを見つけていく。「このプログラムを体験することで彼らの世界が広がり、社会への希望を感じてくれるような気がします。」と柳谷さんは語る。芸術が広げる若者の可能性は、誰もが生きやすい多様な社会という未来にきっと繋がっている。

STAGE

北九州芸術劇場

その他の
ラインアップ

Click here →



一人ひとりの個性が弾けるダンス、地域を知り、紡ぐ演劇、モノレールが1日限定の“走る劇場”に生まれ変わる人気公演など、北九州ならではのオリジナル企画が満載です。

MUSIC

北九州市立響ホール

その他の
ラインアップ

Click here →



漫画のページをめくるたび名曲が溢れ出すあの感動を生るステージで味わう音楽会や、オリジナルの歌詞で綴る“恋”にまつわる狂乱のドタバタ喜劇。物語の世界から音楽の魅力に触れてみませんか？

北九州芸術劇場×北九州市身体障害者福祉協会アートセンター 12/8(日) 発売

レインボードロップス ダンス公演「こんなにも、家族」

障害の有無に関わらずカラフルでいろんな個性があふれる3年ぶりの新作ダンス公演！

DATA

●日程 2/9(日) 14:00、2/11(火祝) 14:00 ●会場 小劇場 ●振付・構成・演出 セレノグラフィカ ●出演 レインボードロップス ●料金 一般¥1800、割引(障害のある方及びその介助者1名、24歳以下)¥1000



©重松美佐

北九州芸術劇場クリエイション・シリーズ 12/15(日) 発売

「まつわる紐、ほどけば風」

街と歴史と人にフォーカスした新しいドラマが生まれます！

DATA

●日程 2/27(木) 13:30、2/28(金) 19:00、2/29(土) 13:30、18:00、3/1(日) 13:30 ●会場 小劇場 ●作・演出 岩崎正裕 ●出演 寺田剛史、村上差斗志／岸部孝子 ほか ●料金 一般¥3000、ユース(24歳以下)¥2500 ※伊丹公演:3/7(土)~3/8(日)



©トミタユキコ

北九州芸術工業地帯／モノレール公演 1/26(日) 発売

「銀河モノレールの夜(仮)」

走る劇場企画第6弾！モノレールを舞台に紡ぐ銀河鉄道の夜

DATA

●日程 3/28(土) 18:36 ●会場 北九州モノレール車内 ●原作 宮沢賢治 ●作・演出 柴幸男 ●出演 生水鹿、鈴木隆太、火ノ口紗彩和、ぼち、森岡光 ●料金 ¥1500 *別途乗車料(大人¥640、子ども¥320)を当日改札にて支払



12/8(日) 発売中

生で聴くのだめカンタービレの音楽会 ピアノ版

ピアノとスクリーンの名シーンで響ホールが『のだめ』の世界に！

DATA

●日程 12/7(土) 14:00、12/8(日) 14:00 ●会場 響ホール ●出演 高橋多佳子(ピアノ) ●曲目 ショパン:ポロネーズ 第6番 変イ長調 op.53「英雄」、ガーシュウィン:ラプソディ・イン・ブルー(ピアノソロ版・抜粋) ほか ●料金 一般¥3000、25歳以下¥1500



©二ノ宮知子／講談社

響ホール OTEGARU Opera vol.4 11/28(木) 発売

フィガロの結婚～フィアンセとIT社長、その妻と少年～

モーツァルトの傑作オペラが俳優も入り乱れる現代版に！

DATA

●日程 2/2(日) 14:00 ●会場 響ホール ●構成・脚本・演出 泊篤志 ●指揮 角岳史 ●出演 響ホール室内合奏団／大飼道雄、永瀧くにか、又吉秀和／立石義江、木村健二、田坂哲郎 ほか ●料金 一般¥3000、25歳以下¥2000



2018年度 オペレッタ「こもり」

1000 COIN!

500

響ホールワンコインコンサート

平日お昼の45分間、ワンコイン500円でクラシック音楽をカジュアルに楽しもう！

発売中

11/28(木) 発売

vol.19 入江一雄(ピアノ)

vol.20 西本幸弘(ヴァイオリン)

●日程 12/19(木) 11:45

●日程 2/18(火) 11:45

●会場 響ホール ●料金 ¥500

※掲載情報は10/17(木)現在の情報です。※公演日程など変更になる場合があります。※公演に関する詳細や各種チケットの購入条件などにつきましてはHPをご覧ください。

ふらここから

575で感じる季節のいろいろ

俳句=村田もも子 イラスト=刈屋さちよ

PROFILE

村田もも子／黒崎の古書店「古本や檸檬」のイベント担当。神楽シーズン到来!今年
は北九州の神楽はもちろん豊前・愛知・広島あたりまで足をのばすつもりです。

刈屋さちよ／イラストレーター。2匹の黒猫とラジオを聴く日々。秋はやたらと蚤の市のお仕事やお誘いがあり楽しみです!

キリンがおしっこするところ、見たことありますか?
ゆばりは「尿」の訓読み。私の頭より高い位置から
降り注ぐそれは、初冬の日差しを受け輝いていま
した。世間一般で汚いとされるものから美しさを見
い出すことも、芸術の大事な仕事のひとつだと思
います。到津の森で出来た一句です。



きらきらとキリンの
ゆばり冬来たる

イロドリ+プラス

今回のテーマ 秋を彩る名盤

中古CD・レコード・DVDの超専門店 FanFan

北九州市八幡西区千代ヶ崎1-9-5

<http://www.fanfan1.com>



「もの悲しく寂寥感が漂う秋は、自分の内面に耳を傾けるのにピッタリな季節。時代も世代も超人々々の胸を打つ名曲にぜひ出会ってほしい」と話すのは、ジャンルを問わず10万枚を超える在庫数が圧巻の老舗中古CDレコードショップ「FanFan」のオーナー帆代さん。ここに来れば、1枚くらいは欲しいものに出会えるはず!この秋、自分だけの掘り出し物を見つけてみては。

INFORMATION 公演チケット取扱

①オンラインチケット



北九州芸術劇場
TEL 093-562-8435
(10:00~18:00/土日祝休)

響ホール音楽事業課
TEL 093-663-6661
(9:00~18:00/土日祝休)

②電話(主催事業のみ)

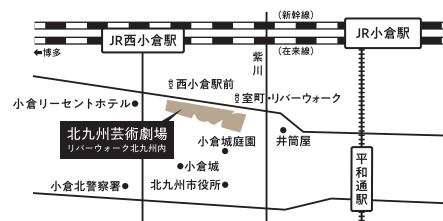
③窓口

北九州芸術劇場プレイガイド
(リバーウォーク北九州5F)
(平日 11:00~18:00、土日祝 10:00~18:00)

響ホール事務局
(9:00~18:00)

北九州芸術劇場 KITAKYUSHU PERFORMING ARTS CENTER

〒803-0812 北九州市小倉北区室町1丁目1-11
リバーウォーク北九州内
TEL 093-562-2655(10:00~18:00)



北九州市立 響ホール HIBIKI HALL

〒805-0062 北九州市八幡東区平野1丁目1-1
国際村交流センター内
TEL 093-662-4010(9:00~18:00)

